

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33105	消費生活の基礎知識 Consumerism	早川 周	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
<p>本科目は、消費者問題、コンシューマリズムに関わる基本的事項、知識を学ぶことを目的とする。消費者問題は受講生の誰もが将来、生活していく上で、関係をもたざるをえない問題で、大変、身近な問題である。</p>						
学修内容			到達目標			
① 消費者問題の基本的事項とその意味を理解する。			① 消費者問題の用語、基本的事項を説明することができる。			
② 課題レポートの作成により具体的な消費者問題にとりくむ			② レポート作成を通じ、学んだことを深め、受講生各自の消費者としての自覚を高めることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	この科目を履修して、消費者問題を理解しようとする気持ちを持つと同時に、新聞、テレビ、インターネットなどの消費者問題関連の記事、ニュース、情報に関心を持つ。				
	働きかけ力					
	実行力	新聞、テレビ、インターネットなどの消費者問題関連の記事、ニュース、情報を毎日、見たり、読んだりする。テキストを通読する。				
考え抜く力	課題発見力	消費者問題がどのような原因で発生しているかを考えてみる。				
	計画力					
	創造力	消費者問題に対してどのような対策がありうるかを自分なりに考えてみる。				
チームで働く力	発信力	授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く 教員からの発問に自分の意見を言うことができる				
	傾聴力	教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか、自分自身の意見との違いを考える。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	授業 5 回の実施に対して、3 回以上欠席した場合、授業を 3 回連続で欠席した場合、オフィスアワーに研究室に来て、補習、指導を受ける。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:特に指定しない。毎回の授業では印刷教材(授業のポイント、関連資料、演習・復習兼振り返りシート)を配布する。</p> <p>参考文献:『くらしの豆知識』(国民生活センター)(各年販)、消費者法、消費者問題を扱ったテキスト(なるべく新しいもの)</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:「マーケティング」、「企業経営のしくみ」(ビジネススタディ・ユニット)</p> <p>資格との関連:ビジネス実務士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
① 受講生の参加(授業中の発言、振り返りシートの記入)を求め、評価に反映する。			① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。			
② 授業で学んだことを基に、自分の周り(新聞、テレビ、インターネット等含む)にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。			② 欠席はやむをえない場合以外はしないようにする。また、連続して欠席をしないようにする。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	20	①	✓	① 要点・用語試験(20点) ・授業の要点、授業で出てきたキーワードについて、その意味を理解している。
		②		
レポート	70	①	✓	① 「表示」についてのレポート(全員必須、4,800字程度)(35点) ・3つの商品を選び、表示されていること、表示からわかることを調べ、レポートを作成する。 ② 「テーマ・レポート」(全員必須、3,200字程度)(35点) ・自分で消費者問題のテーマを選び、レポートを作成する。
		②	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・この科目を履修して、消費者問題を理解しようとする気持ちを持つと同時に、新聞、テレビ、インターネットなどの消費者問題関連の記事、ニュース、情報に関心を持つ。 (実行力) ・新聞、テレビ、インターネットなどの消費者問題関連の記事、ニュース、情報を毎日、見たり、読んだりする。テキストを通読する。 (課題発見力) ・消費者問題がどのような原因で発生しているかを考えてみる。 (創造力) ・消費者問題に対してどのような対策がありうるかを自分なりに考えてみる。 (発信力) ・授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く。 ・教員からの発問に自分の意見を言うことができる。 (傾聴力) ・教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか、自分自身の意見との異同を考える。 (規律性) ・授業5回の実施に対して、3回以上欠席した場合、授業を3回連続で欠席した場合、オフィスアワーに研究室に来て、補習、指導を受ける。
		②		
その他				
総合評価 割合	100			小テスト、レポート、学修態度の成績を総合して評価する

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀): 自分自身の消費生活の改善提案を行うことができる(課題レポートを作成することができた。) A(優): 自分自身で消費者問題の事例を調査、分析することができる(課題レポートを作成することができた。)	B(良): 授業で紹介した消費者問題の事例について説明することができる(小テストで該当する設問(記述式)に答えることができた) C(可): 各週の講義のC(可)の達成基準の設問を説明することができる(小テストで該当する設問(選択式、用語記入式)に答えることができた)

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	消費者問題とは何か、その現状を知る 消費者問題が生じる原因を理解する 消費者の権利の意味、内容を知る	講義	・消費者の権利を説明することができる。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力
2週 /	表示とは何か、目的、内容を知る 食品の表示の事例を理解する 健康食品、保健機能食品の意味を知る	講義 復習課題については授業内で解説する	・製品の表示の目的と内容を説明することができる。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力
3週 /	食品添加物の種類を知る 食品添加物の表示について理解する 食品添加物の長所、短所を理解する	講義 復習課題については授業内で解説する	・食品添加物の種類と機能を説明することができる。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力
4週 /	食品の安全性(食品のトレーサビリティ、遺伝子組み換え食品、食品添加物の規制、農薬の規制)について知る	講義 復習課題については授業内で解説する	・食品の安全性に関する表示について説明できる。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力
5週 /	医薬品、医療機器、化粧品、電気・ガス用品の安全性について知る 玩具、衣料品、家庭用品、工業用品の安全性について知る	講義 復習課題については授業内で解説する	・食品以外の安全性の表示について説明できる。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力
6週 /	製品の表示のあり方を知る 不当広告、虚偽広告の意味を知る	講義 復習課題については授業内で解説する	・製品の表示についてレポートを作成する。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力
7週 /	契約と約束の違いを知る 契約自由の原則の意味を知る 契約の効力、契約の無効と取消を理解する	講義 復習課題については授業内で解説する	・契約と約束の違いを説明ができる。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力
8週 /	クーリングオフ制度の意味を知る クーリングオフができる契約、条件を知る クーリングオフの仕方を理解する	講義 復習課題については授業内で解説する	・契約の無効と取消の違いを説明できる。 ・クーリングオフ制度を説明できる。	(復習)左欄の課題ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	45	主体性、傾聴力、課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	特定商取引法、消費者契約法、 割賦販売法 消費者被害のチェックポイント について	講義 復習課題については授 業内で解説する	・各法律が扱う消費者被害 について説明できる。	(復習)左欄の課題がで きるようにする。 (予習)次週の学修内容 をふまえた予習課題を 出すので自分なりの答 えを考える。	45	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
10週 /	不当請求、キャッチセールス、 通信販売、マルチ商法の実例と 対策を知る	講義 復習課題については授 業内で解説する	・問題商法の特徴について 説明できる。	(復習)左欄の課題がで きるようにする。 (予習)次週の学修内容 をふまえた予習課題を 出すので自分なりの答 えを考える。	45	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
11週 /	販売信用、消費者金融の現状を 理解する 多重債務、自己破産の意味、防 止策を知る	講義 復習課題については授 業内で解説する	・販売信用、消費者金融の 機能と役割について説明で きる。	(復習)左欄の課題がで きるようにする。 (予習)次週の学修内容 をふまえた予習課題を 出すので自分なりの答 えを考える。	45	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
12週 /	地球環境問題の現状を知る 環境にやさしい生活、商品の選 択について考え方、現状を理解 する	講義 復習課題については授 業内で解説する	・5Rについて説明できる。	(復習)左欄の課題がで きるようにする。 (予習)次週の学修内容 をふまえた予習課題を 出すので自分なりの答 えを考える。	45	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
13週 /	自然災害の現状を知る 消費者における地震などの防災 対策の考え方を理解する	講義 復習課題については授 業内で解説する	・防災備蓄品について説明 できる。	(復習)左欄の課題がで きるようにする。 (予習)次週の学修内容 をふまえた予習課題を 出すので自分なりの答 えを考える。	45	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
14週 /	行政機関、企業における消費者 問題への対応プログラムの現状 を知る コンシューマリズム、消費者運 動の意味、現状を理解する	講義 復習課題については授 業内で解説する	・コンシューマリズムにつ いて説明できる。	(復習)左欄の課題がで きるようにする。 (予習)次週の学修内容 をふまえた予習課題を 出すので自分なりの答 えを考える。	45	主体性、 傾聴力、 課題発 見力
15週 /	学んだ知識を基に、受講生自身 の消費生活を振り返り、どう改 善するかを話し合う	講義 復習課題については授 業内で解説する	・自分の消費生活を省みて、 改善点を考える。 ・消費生活レポートを作成 する。	(復習)左欄の15回の到 達レベルC(可)の基準 ができるようにする。	45	主体性、 傾聴力、 課題発 見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力